

今夏の省エネ・節電対策の結果について

1 今夏の電力需給の実績

- 7月～9月の間の最大電力は、2,520万kW（8月10日）であり、中部電力の見通し（最大2,622万kW）と比べ、約100万kW下回った。
- 供給予備率が、安定供給の目安とされる8%を下回ったのは、計2日（8月23日：7.5%、8月29日：7.3%）であった。
- 以上のとおり、今夏の電力需給は、全体としては、安定的に推移したと考えられる。
- その要因としては、猛暑日日数が計11日と昨年の3分の1程度となるなど、猛暑と言われた昨年ほど気温の上昇が見られなかったこと、中部電力による各種需給対策、自動車産業の生産の土日シフトによる需要の平準化をはじめとする地域を挙げた節電の取組が効果を発揮したものと考えられる。

【7月～9月の電力需給等の実績】

	7月	8月	9月
最大電力	2,337万kW (7月11日)	2,520万kW (8月10日)	2,370万kW (9月13日)
供給力(最大)	2,665万kW (7月4日)	2,833万kW (8月9日)	2,590万kW (9月13日)
供給予備率(最低)	9.8% (7月10日)	7.3% (8月29日)	9.3% (9月13日)
平均最高気温 ()は昨年	32.2℃ (32.2℃)	32.7℃ (34.1℃)	29.5℃ (31.0℃)
猛暑日日数 ()は昨年	計2日 (計8日)	計9日 (計13日)	0日 (計9日)

【参考：中部電力の見通し】

	7月	8月	9月
最大電力	2,622万kW	2,622万kW	2,506万kW
供給力	2,806万kW	2,801万kW	2,679万kW
供給予備率	7.0%	6.8%	6.9%

2 「愛知県庁の今夏の省エネ・節電アクションプラン」の実績

- 7月～9月の通期でのピーク時の節電実績は、本庁舎・西庁舎・自治センターの計では、1日あたりにして削減率4.9%であり、計画ベースの5.2%とほぼ同程度の結果となった。
- 地方機関の5総合庁舎（三の丸、海部、知多、西三河、東三河）の計では、1日あたりにして削減率7.2%であり、計画ベースの6.7%を上回る結果となった。

【アクションプランによるピーク時の節電電力量と一日あたり削減率】

	本庁舎・西庁舎・自治センター	5総合庁舎
計画ベース	1,993kWh 5.2%	1,118kWh 6.7%
7月～9月の通期実績	1,876kWh 4.9%	1,194kWh 7.2%
7月の実績	1,909kWh 5.0%	1,161kWh 7.0%
8月の実績	1,805kWh 4.7%	1,435kWh 8.6%
9月の実績	1,938kWh 5.1%	984kWh 5.9%

3 今後の取組

- 「愛知県庁の今夏の省エネ・節電アクションプラン」は9月末をもって終了したが、普段からの省エネ・節電の取組（「愛知県庁の環境保全のための行動計画」など）は、引き続き徹底する。
- 今冬の需給対策について、中部電力が検討を行っていることから、その動向を把握しながら、県民生活、産業活動への支障を最小限にする観点から、県として、適切な対策を講じていく。